

同和教育の実践的取組の充実について（指定教材）

三木市教育委員会

各学校において特別の教科「道徳」の時間等での同和教育の実践につなげるため、下記の資料を年間指導計画に位置づけ、取組をお願いします。

【小学校】

学年	資料名	ねらい
4年	半日村（ほほえみ）	自分たちが住む地域が抱えている課題を甘受するのではなく、仲間と共同して解決していこうとすることの大切さに気づき、地域の発展に尽くそうとする態度を育てる。
5年	みんなの秋祭り（友だち）	誰に対しても差別や偏見をもつことなく、公正、公平にし、正義の実現に努めようとする態度を養う。
	町の石ひ（ほほえみ）	先人の努力を知り、郷土や国を愛そうとする心情を深める。
6年	百日かせぎ（ほほえみ）	誰に対しても差別や偏見をもつことなく、公正、公平にし、正義の実現に努めようとする態度を養う。
	人の世に熱あれ人間に光あれ （友だち）	部落差別の不合理さに気づかせるとともに、その解消に向けて立ち上がってきた人々の思いにふれ、差別のない社会の実現に努めようとする意欲や態度を育てる。
	さと子ばあちゃん（新ほほえみ）	差別をなくすために取組んできた人たちの姿から、差別を見抜く力を養い、誰もが差別のない暮らしやすい社会を構築するために、自ら行動しようとする態度を養う。

【中学校】

学年	資料名	ねらい
1年	ぼくの家族も（友だち）	自分や自分のくらしを見つめ直し、部落差別をなくするための学習を自らの課題として受け止めようとする態度を育てる。
2年	立ち上がった青年たち（きらめき）	自ら差別解消に立ち上がった人々の姿に学びながら、差別解消への意欲と態度を育てる。
2・3年	めぐり来る夏に（新きらめき）	差別を解消するために取組んできた人たちの姿から、差別を見抜く力を養い、差別のない社会を構築するために行動しようとする意欲を育てる。
3年	祭りばやし聞こえる（きらめき）	不合理な差別が人々の幸せな生き方を阻んでいることに気づき、共に差別の解消に努めようとする意欲と態度を育てる。
	きずな（友だち）	部落差別が人々の幸せな生き方を阻んでいることに気づき、共に差別の解消に努めようとする意欲と態度を育てる。

【中学校総合的な学習の時間等】

学年	資料名	ねらい
全学年	同和問題の歴史について調べ、考えよう（新きらめき）	中世から近代までの人権の歴史を科学的に理解し、差別されていた人々が社会や文化を支え、たくましく生きてきたことを知ることで、差別の不合理に気づき、差別解消への意欲を高める。等

※上記以外は、各学校の課題により計画する。